

セクション 1: 物質／混合物および会社情報

1.1. 製品特定名

製品形態 : 物質
製品名 : MED-367
別名 : 可変粘性シリコーン流体

1.2. 該当純物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質／混合物の用途 : 潤滑性および／または疎水性の流体を提供する透明なポリシロキサン流体
業務用のみ

1.3. 安全データシートの作成者に関する詳細

NuSil Technology LLC
1050 Cindy Lane
Carpinteria, California 93013
USA
(805) 684-8780

regcomp@nusil.com

www.nusil.com

1.4. 緊急時の連絡先電話番号

緊急連絡先電話番号 : 703-527-3887
CHEMTREC - 米国以外

セクション 2: 危険有害性情報

2.1. 物質または混合物の分類

GHS 分類
眼刺激性 2B H320

2.2. ラベル要素

注意喚起語 (GHS-JP) : 警告
危険有害性情報 (GHS-JP) : H320 - 眼刺激
注意書き [対応] : P264 - 取扱い後は手および前腕部をよく洗うこと
注意書き [予防策] : P305+P351+P338 - 眼に入った場合: 水で数分間、注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること

2.3. その他の危険有害性

追加情報なし

セクション 3: 組成／成分情報**3.1. 物質**

物質または混合物の識別 : 物質

名称	濃度	化学式	官報公示番号		CAS 番号
			CSCL 番号	ISHL 番号	
ジメチルポリシロキサン	100%	特記なし	(7)-476		63148-62-9

セクション 4: 応急措置**4.1. 応急措置の説明**

- 一般的な応急措置 : 意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。
- 吸引の場合の応急措置 : 吸引した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸困難が続く場合は医師の手当てを受ける。
- 皮膚接触の場合の応急措置 : 汚染された衣類を脱ぐ。多量の水と石鹼で優しく洗う。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合の応急措置 : 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。痛み、瞬き、または発赤が続く場合には、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合の応急措置 : 大量に飲み込んだ場合は医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、毒物センターまたは医師に連絡すること。

4.2. 急性と遅延型の両方を含む、最も重要な症状と影響

- 症状／損傷 : 通常の使用において予測される条件下では、重大な危険有害事象の発生は見込まれない。
- 吸引の場合の症状／損傷 : 液体への長期暴露により、軽度の刺激性を引き起こすおそれがある。
- 皮膚接触の場合の症状／損傷 : 長期間の接触により、軽度の刺激性を引き起こすおそれがある。
- 眼に入った場合の症状／損傷 : 眼への刺激のおそれ。
- 飲み込んだ場合の症状／損傷 : 大量に飲み込んだ場合: 胃腸の炎症。

4.3. 即時の医療措置および特別な治療の適応となる症状

気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。

セクション 5: 火災時の措置**5.1. 消火剤**

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、霧状消火剤、泡消火剤。
- 不適切な消火剤 : 強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。

5.2. 物質または混合物に由来する特別な危険

- 火災危険性 : 可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。
- 爆発危険性 : 本製品は爆発性はない。
- 反応性 : 通常の条件では有害な反応は発生しない。

5.3. 消火時の注意事項

- 火災に関する予防措置 : 化学物質による火災の消火は慎重に行うこと。
- 消火時の指示 : 露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。消火活動の際の流出物が排水設備や水路に入らないようにすること。
- 消火時の防護 : 呼吸用保護具を含む適切な防護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。
- その他の情報 : 可燃性についてはセクション 9 を参照のこと。

セクション 6: 漏出時の措置**6.1. 人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置**

- 一般的な措置 : 眼、皮膚、衣類への接触は避けること。

6.1.1. 緊急救援隊以外の人員

- 防護具 : 適切な個人用保護具(PPE)を使用すること。
- 緊急措置 : 不必要な人員を退避させる。

6.1.2. 緊急対応にあたる人員

- 防護具 : 洗浄担当のスタッフには適切な防護具を装着させること。
- 緊急措置 : 漏出した区域の換気を行う。

6.2. 環境に対する注意事項

- 下水および公共用水への流入を防止する。液体が下水や公共用水に流入した場合は監督官庁に通知する。

6.3. 封じ込めおよび浄化の方法・機材

- 封じ込め : 漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や河川への流入を防止する。
- 浄化方法 : 漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。不活性物質を用いて漏出した物質の吸収および/または封じ込めを行い、適切な容器に入れる。

6.4. 他のセクションの参照事項

- セクション 8「暴露防止および保護措置」を参照のこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管**7.1. 安全な取扱いに関する注意事項**

- 加工時の追加的有害危険性 : 高温の有機化合物の蒸気またはミストは、空気と混ざると自然発火しやすくなるという性質があり、発火温度よりも低い温度で発火するおそれがある。発火温度は、蒸気量が増加した場合や蒸気と空気の接触時間が長くなった場合、また気圧の変化により低くなる。高温での加工(特に真空状態)において、発火が生ずる場合がある。高温加工における本製品の使用に際しては、定められた安全動作条件が確立され、維持されていることを確認するために、徹底的な評価を行うことが求められる。加熱時:少量のホルムアルデヒドの発生。
- 安全な取扱いに関する注意事項 : 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。蒸気の生成を避けるため、処理区域では十分な換気を行うこと。

MED-367

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

衛生対策 : 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

7.2. 安全な保管の条件(混触危険性を含む)

技術的対策 : 適用される規則を遵守すること。
保管条件 : 乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。使用していない場合は、容器を閉めておくこと。混触危険物質を避けて保管すること。
混触危険物質 : 強酸。強塩基。強力な酸化剤。
混触危険物質 : 発火源。直射日光。

7.3. 特定の最終用途

潤滑性および／または疎水性流体を提供する透明なポリシロキサン。業務用のみ。

セクション 8: 暴露防止／保護措置

8.1. 管理基準

追加情報なし

8.2. 暴露防止

適切な設備対策 : 十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。暴露の危険性のある区域のすぐ近くに、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。

個人用保護具 : 防護ゴーグル。手袋。保護衣。すべての不必要な暴露を避けること。換気が不十分な場合: 呼吸用保護具を着用。



保護衣の素材 : 耐化学物質性の素材および繊維。
手の保護 : 耐化学物質性の保護手袋を着用すること。
眼の保護 : 化学物質用のゴーグルまたは安全眼鏡。
皮膚および身体の保護 : 適切な保護衣を着用すること。
呼吸器系の保護 : 換気が不十分な場合は、呼吸用保護具を着用すること。

セクション 9: 物理的および化学的特性

9.1. 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態 : 液体
外観 : 無色透明。
色 : データなし
臭い : 無臭。
臭いの閾値 : データなし
pH : データなし
相対蒸発速度(酢酸ブチル=1) : データなし
融点 : データなし
凝固点 : データなし

MED-367

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

沸点	: データなし
引火点	: 135°C超(275°F 超)
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°C)	: データなし
相対密度	: 0.99
溶解度	: データなし
オクタノール／水分配係数(Log Pow)	: データなし
オクタノール／水分配係数(Log Kow)	: データなし
粘性	: データなし
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし
爆発限界	: データなし

9.2. その他の情報

揮発性有機化合物含量 : 1%未満

セクション 10: 安定性および反応性

10.1. 反応性

通常の条件では有害な反応は発生しない。

10.2. 化学的安定性

通常の条件では安定。

10.3. 有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

10.4. 避けるべき条件

直射日光。極端な高温または低温。混触危険物質。

10.5. 混触危険物質

強酸。強塩基。強力な酸化剤。

10.6. 危険有害な分解生成物

炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。フッ素化合物。炭化水素。ケイ素酸化物。ホルムアルデヒド。ホルムアルデヒドは発がん性を持つ物質であり、皮膚および呼吸器系に対して感作物質として作用する可能性がある。ホルムアルデヒドはまた、呼吸器および眼への刺激を引き起こす可能性がある。

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

急性毒性 : 未分類

ジメチルポリシロキサン(63148-62-9)	
LD50 経口 ラット	17g/kg 超
LD50 皮膚 ウサギ	2g/kg 超

MED-367

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

皮膚腐食性／刺激性	： 未分類
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	： 眼刺激。
呼吸器感作性または皮膚感作性	： 未分類
生殖細胞変異原性	： 未分類
発がん性	： 未分類
生殖毒性	： 未分類
特定標的臓器毒性(単回暴露)	： 未分類
特定標的臓器毒性(反復暴露)	： 未分類
吸引性呼吸器有害性	： 未分類

セクション 12: 環境影響情報

12.1. 毒性

追加情報なし

12.2. 残留性および分解性

追加情報なし

12.3. 生物蓄積性の可能性

追加情報なし

12.4. 土壌中の移動性

追加情報なし

12.5. その他の有害な影響

その他の情報 : 環境への放出を避けること。

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

推奨される廃棄方法 : 現地／国の規制に従って安全に廃棄すること。

生態系- 廃棄物質 : 環境への放出を避けること。

セクション 14: 輸送上の注意

ADR／RID／ADNR／IMDG／ICAO／IATA に準拠

14.1 UN 番号

輸送規制の観点では危険物品なし

14.2. 国連正式輸送品名

該当なし

14.3 追加情報

その他の情報 : 補足情報なし。

陸上輸送

追加情報なし

海上輸送

追加情報なし

MED-367

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

航空輸送

追加情報なし

セクション 15: 適用法令

15.1. 日本の目録

ジメチルポリシロキサン(63148-62-9)

日本の化審法既存および新規化学物質(ENCS)一覧に記載。

15.2. 国際規制

EU 規制

追加情報なし

セクション 16: その他の情報

危険有害性の文言の全文:

眼刺激性 2	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性、区分 2
H319	強い眼刺激

SDS 日本 GHS

本書に記載の情報は本安全データシートの日付の時点で正確なものであり、誠実さをもって提供されるものである。本文書に記載の情報および意見の使用、また製品の使用条件は、NuSil Technology の管理範囲外であり、製品の安全な使用条件に関する判断の義務は使用者が負うものとする。